

第 29 回 IEEE 関西支部 LMAG 技術講演会
(兼) 第 129 回 IEEE 関西支部 TPC 技術講演会
(共催)IEEE 名古屋支部 LMAG 技術講演会
(共催)IEEE 東京支部 LMAG 技術講演会

2025/07/24 記録

Report of

29th IEEE Kansai Section LMAG Technical Lecture Meeting,
129th Kansai Section Technical Lecture Meeting,
IEEE Nagoya Section LMAG Technical Lecture Meeting,
& IEEE Tokyo Section LMAG Technical Lecture Meeting

LMAG 関西 事務局

講演会の概要 (Summary)

・ 講演テーマ (Title)

AI 時代の大学教育への取組みと展望

Initiatives and Prospects for University Education in the AI Era

・ 講演者 (Lecturer)

・ (1) 保立 和夫 氏 (IEEE Life Fellow)

豊田工業大学学長

東京大学名誉教授

元 東京大学 理事・副学長

元 応用物理学会会長

Kazuo Hotate

President, Toyota Technological Institute,

Professor Emeritus, The University of Tokyo

Former Executive Vice President and Director, The University of Tokyo,

Former President, The Japan Society of Applied Physics

(2) 石田 亨 氏 (IEEE Life Fellow)

京都大学名誉教授

インドネシア・テルコム大学客員教授

元 NTT コミュニケーション科学研究所

元 電子情報通信学会会長

Toru Ishida

Professor Emeritus, Kyoto University

Visiting Professor, Telkom University, Indonesia

Former NTT Communication Science Laboratories

Former President, The Institute of Electronics, Information and
Communication Engineers (IEICE)

日時 (Date)

2025 年 7 月 25 日 (木) 14:30 – 17:00

場所 (Place)

大阪工業大学 (梅田キャンパス) OIT 梅田タワー 2 階セミナー室

Osaka Institute of Technology (Umeda Campus) OIT Umeda Tower 2F

主催 (Organizer)

IEEE Kansai Section Life Members Affinity Group

IEEE Kansai Section Technical Program Committee

共催 (Co-Organizer)

IEEE Nagoya Section Life Members Affinity Group

IEEE Tokyo Section Life Members Affinity Group

参加者 (Participants)

153 名 (会場出席者 19 名、オンライン参加者 134 名)

プログラム (Program)

14:30 開会挨拶・紹介

14:35 講演 1：保立氏によるご講演

「AI 時代にこそ大切な『知識を理解に昇華させる』教育への取組みと展望」

15:50 講演 2：石田氏によるご講演

「生成 AI が変える高等教育～インドネシア Telkom 大学の実験から～」

16:55 閉会挨拶、お知らせ

17:30 懇親会（希望者のみ）

概要（Brief Report）

IEEE 関西支部 LMAG Chair の有木康雄氏より、「AI 時代の大学教育への取組みと展望」というテーマで技術講演会を開催する旨、開会の挨拶があり、その後、本技術講演会の趣旨説明が行われた。

その後、豊田工業大学学長、東京大学名誉教授の保立和夫様より、「AI 時代にこそ大切な「知識を理解に昇華させる」教育への取組みと展望」と題してご講演が行われました。AI 時代だからこそ大学での学習は、単に知識を覚えるのではなく、「本当の理解に到達する」努力をすることが重要であると述べ、そのためには「結論に対応した理由を、それらの関係性において納得する」学習態度を身につけるべきであると説明されました。この「なぜ」を問い続ける思考の繰り返し、論理的思考力を段階的に向上させるとのことです。専門分野の学習を通して、論理的思考力や創造力といった汎用力も同時に涵養されると述べられ、研究は成果を出すだけでなく、自己を育てるためのツールであることを訴えられました。

続いて、京都大学名誉教授、インドネシア・テルコム大学客員教授の石田亨様より、「生成 AI が変える高等教育 ～インドネシア Telkom 大学の実験から～」と題してご講演が行われました。生成 AI、特に大規模言語モデル（LLM）への対応が高等教育において急務であるとし、教員の準備状況に関わらず学生がすでに AI の利用を始めている現状を指摘されました。本講演では、インドネシア Telkom 大学の実験をもとに、教育面では成果重視からプロセス重視への転換が必要であり、学習面では学生の LLM 利用におけるリテラシーの向上が最大の課題であると述べられました。学生のリテラシー向上のため、4つの原則（LLM から学ぶ、簡単な質問で対話を続ける、トピックを超えて脱線を楽しむ、LLM を生涯のメンターに）を提唱され、真剣な問いかけが LLM の持つ計り知れない潜在能力を引き出すことを強調されました。

懇親会（Optional Get-together）

13名の参加を得て、大阪工業大学梅田キャンパス 21 階レストランにて懇親会が行われました。ご講演頂いた保立様、石田様を囲んで楽しく有意義な歓談の場を持つことができました。

写真 (Photos)



有木 Chair によるご挨拶



保立和夫氏によるご講演



石田亨氏によるご講演



集合写真



懇親会開始



懇親会終了